



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)
そうなのか！ハマス偏向報道のからくり
本当の解決に至るために

2023/12/31

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。激動の2023年も、間もなく暮れようとしております。今年には特に10月7日のハマスのテロ、あのテロ事件以降、このごうちゃんねるでは、世間一般で流されている中東情勢の解説に対して異議申し立て、及びそれを修正するような内容の動画を発信し続けて参りました。

と申しますのは、もう、やむにやまれぬ気持ちであったからです。

しかし、そのような動画を発信するようになって、ある方々は私から離れて行ったり、四方八方から石が飛んで来るということもあったのです。

にも拘らず継続することができたのは、その100倍くらい大勢の皆様から暖かいご支援とご理解を頂いたからです。

それで、今日は年末、改めてハマスのこのテロに対するイスラエルの自衛行為についての様々な曲解を、なぜそうなるのかということ踏まえ、もう一度解説します。そして、来年の告知に繋がりたいと思います。

イスラエルはなぜ、こんなに憎まれてしまうのか。

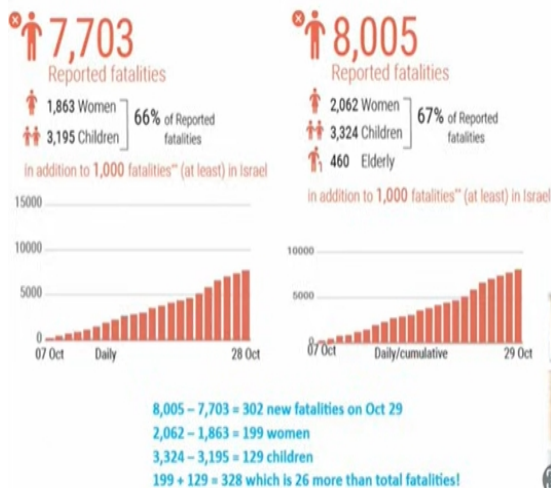
“ガザで毎日、連日のように女性や子供たちが大変な被害を受けている。これはやり過ぎではないか。” そんな論調なんですよ。

これについては、イスラエルにも情報の開示があります。

しかし、日本のマスコミが報道するのはイスラエルの情報開示ではなく、ガザ保健当局の発表内容をそのまま垂れ流すんですね。

ガザ保健当局っていったい誰なんですか、という話ですよ。

パレスチナ自治政府ですか。関係ありませんよ。ガザ保健当局ってハマスなんです。ハマスが公式発表している内容を、そのまま垂れ流してるんですね。



そこで、“ハマスが報道している内容は本当に報道するに値するものなのか”ということX(エックス)で定期的にアップしているポストがあるので、一つ紹介します。

右と左に数字が出てますね。

右に赤い人間の姿があって8,005。左は7,703ですね。

8,005は10月29日の段階で亡くなったパレスチナ人の数です。

8,005人もの方々が亡くなったと。

左の 7,703 は、その前日の 10 月 28 日までの犠牲者です。
なので、10 月 29 日の一日だけの犠牲者は $8005 - 7703 = 302$ 。
302 人も亡くなったと言うんですね。

更に 8,005 の内訳について、上から Women・Children・Elderly (老人)。
10 月 29 日現在、女性は 2,062 人、子供は 3,324 人亡くなった。
この 2 つだけで 67% の被害が出ている。

その前日を見ると、女性は 1,863、子供は 3,195 となっています。これが正しいければですよ。ということは、10 月 29 日の一日で女性は何人亡くなったんですか。
 $2062 - 1863 = 199$ 人が亡くなった。子供は $3324 - 3195 = 129$ 人が亡くなった。
ですが、女性 199 人と子供 129 人を足すと 328 人です。
先ほど言ったように、10 月 29 日に亡くなった人は、成人男性や老人を全部含めて 302 人。だけど、女性と子供を合わせただけで 328 人。数合わないじゃないですか。

つまり、いかにも女性と子供に大きな犠牲が出ているかのように捏造した、デタラメ数字を流しているということなんです。このデタラメ数字の布告は現在に至るまでずーっと続いています。数字上の矛盾はずーっと出て来て、このサイトで紹介されているんですよ。

ところが、日本の報道を見ると、「ガザ保健当局の発表では、一日で 210 人亡くなりました！」みたいなことが今でも言われている。これ、いかがなものですか。ガザ保健当局なんて言うのはやめて、「ハマスが言うにはこうです」と言わないと、そんな報道の仕方では流されている情報を聞いているうちに、「イスラエルって、ムチャクチャやるな」となってしまふんじゃないですか。

私はこの当局の息の掛かった衛生セクションの発表で、北朝鮮のことを思うんです。実は新型コロナウイルス、今までに 8 億人が罹ったと言われています。今世界人口は 80 億人。その 1 割が新型コロナウイルスに罹った。そして、700 万人が亡くなったと言われてます。

ところが、長い間「うちは感染者ゼロです！」と言い張って来た国があるんですね。北朝鮮ですよ。北朝鮮は 2022 年 5 月まで、「うちは感染者ゼロ！」と言い張って来たんですが、2022 年 5 月になって初めて感染を認めました。そして、亡くなった人の総計は 70 人と言って、死亡率は 0.002%。世界で一番低い死亡率です。医療制度が貧弱で、ワクチン接種者が一人もいない北朝鮮で、世界一感染者が少なく、世界一死亡率が低いってね、真に受ける人いないんですよ。

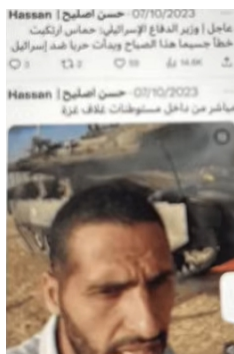
北朝鮮保健当局はそう発表してもね、そんなことを事実として報道するような報道機関はないんです。独裁国家ですから、自分の都合のいいように発表しているんだから、それをまともに流すというのは恥ずかしいことなんですよ。その恥ずかしいことを、ハマスに限っては行っているのが日本のマスコミなんです。

ハマスの情報については、そのまま受け売りを流すんです。
ところが、イスラエルの情報については、眉唾扱いというか非常に批判的な扱い、「これ疑ってみる必要がありますよね」みたいな文脈で説明されることが多い。
なぜ、ハマスの肩を持つような報道が多いのでしょうか。

一つには構造的問題があります。例えば、ガザで食料強奪事件が続発しています。世界各国位から支援物資が入って来ても、それをハマスが独占してるんですね。そして、ハマスが一旦入手した物をガザの住民に高値で売りつける。なので、ガザの住民は堪忍袋の緒が切れてトラックに群がって行くんですが、それを銃撃して銃殺していくという動画が出回っています。でも、日本では見れない。ほとんどのマスコミには出て来ないんですね。なぜ出ないのか。ハマ스에都合の悪いような情報を流すと、もうガザでの取材が出来なくなるということがあるんです。

今回、注目しなければならない問題があります。
10月7日のテロの時、ハマスはその残虐行為を自ら撮影して SNS にアップし、まるで戦利品を勝ち誇るかのように、拉致された人たちを見せびらかしたり、残虐行為の結果を動画でアップしたんですね。これは彼ら自身が撮影しただけではなく、実はフォトジャーナリストと言われる人たちも撮影してたんです。

フォトジャーナリストたちは誰に雇われていたのか。
ニューヨークタイムズ・CNN・ロイターなど、大手マスコミなんですね。



彼らに「こんな写真撮りました」と、たくさん流したうちの第一人者がハッサン・エスライヤです。
この写真、ちょっとピンボケなんですけど、彼がハッサン・エスライヤで、燃え盛る戦車の前で写真を撮っています。



今から写真を2枚ずつ見てもらいます。これはエスライヤが撮った写真です。

イスラエルのメルカバという戦車がハマスに襲撃されて炎上し、戦車の中にいたイスラエル兵が全員引きずり出されて、そのままガザに拉致されて行くんですが、その経緯をずっと写真に撮っている。



これは、テロリストたちがガザのフェンスを越えて、イスラエルに行くところです。



ここに黄色の鉄の扉がありますが、これはハマスが襲撃したキブツの扉です。キブツの扉を越えてテロリストがやって来た。



そして、キブツ内の家屋に火を放って、中に逃げ込んでいるイスラエル人を燻り出していく。これ全部、フォトジャーナリストが撮ってるんですよ。

このテロは極秘で行われたんです。情報機関が発達しているイスラエルを相手に、これから戦争しようというわけですよ。絶対にバレないように極秘の極秘扱いでテロを決行したんですが、極秘にも拘らず、たくさんのフォトジャーナリストがテロリストに同伴して一緒に動いてるんです。フォトジャーナリストの中に、手榴弾を持っていた者がいることも分かってる。つまり、フォトジャーナリストなのかハマスの一員なのか、よく分からないんです。

好意的に見ても、ハマス寄りの情報を流すことを条件に、このような取材をして特ダネを撮ることができたのではないかと。西側の大手マスコミが、それを使ってるということですよね。これは何を意味するのか。ハマスに不利な情報を流すと、ガザの中で取材活動が出来ないんですよ。特ダネが取れないんです。

私はこれを聞きながら、思い出したことがあるんですよ。中国で1967年から77年までの10年間、文化大革命というのがあったじゃないですか。文化大革命って、どんな文化を革命するのか。

66年までに独裁者の毛沢東が、独裁者でなくなった時代があったんですね。彼は躍進運動の大失敗で、自分の権力の座を部下の劉少奇（りゅう しょうき）に譲り渡さなければならなかったんです。劉少奇は毛沢東の権力が少し落ちている時に、資本主義をちょっと混ぜこぜにした社会主義にしました。バリバリの社会主義では経済回らん。だから、資本主義の要素を入れたチャンポン、社会主義私有経済の緩やかなものを行ったんです。

しかし、毛沢東はもう一度権力を取り戻すために、「資本主義という文化を粉砕して木っ端微塵にし、新しい純粋な社会主義という文化を創生するんだ！そのためには、今の指導者連中は上から下まで全部滅ぼして当然なんだ！」それで14歳から18歳、中学2年生くらいから上の若者たちに武器を持たせて、紅衛兵（こうえいへい）として、学校では教師、そして、様々な共同体では顔役と言われている人たち、すなわち劉少奇の下で責任を持っていた人たちが皆、下からの突き上げでリンチを受けながら、2000万人殺されたと言われてるんです。これを文化大革命と言うんですね。

この文化大革命を日本ではどう報道したか。

「純粋な社会主義を理想として求めているんだろう。」「道徳的な面では評価できる点もある。」「文化大革命によって中国の農業は一気に伸びた。」そんなことを思いっきり垂れ流した新聞があるんですよ。朝日新聞です。朝日新聞のその時の社長の村山氏は、日中友好協会の会長でした。

朝日新聞のためにちょっと弁護すると、朝日の記者は優秀だったんです。

例えば、北京の特派員だった船橋洋一（ふなばし よういち/1944.12.15-）は、「文化大革命はそんなキレイなもんじゃないぞ。この中でやられているのは、権力を取り戻すための醜い権力闘争なんだ！2千万殺されてるぞ！」と送るんですが、社としてそれを報道しないように全部握り潰したんですよ。

文化大革命の実像を全部明らかにしたのは、日本の中では産経新聞だけです。

産経新聞に柴田穂（しばた みのる/1930.3.21-1992.2.1）という記者がいましたね。もう亡くなくなりました。

彼が確か 1966 年 9 月～1967 年 9 月くらいですか、とにかく 1 年間くらい中国の特派員だったんですが、中国が書いてほしくない文化大革命の本当のことを書き続けて、圧力が来ても書き続けて書き続けて、遂に国外追放されました。

そして、産経新聞は 31 年間、中国に常在の記者を置くことができなかつたんです。自分とこの記者送れなかつたら、情報取れないじゃないですか。記事書けないじゃないですか。現地取材できないじゃないですか。

これはマスコミとして、新聞社として非常に痛いことだったけど、伝えるべきだということでやったんです。

それと同じことがガザでもあるんですね。ハマスがガザを実効支配している中で、ハマスの検閲・ハマスの意向に沿わないような新聞記者・プレスは中に入れない。ガザの問題は皆が一番注目しているじゃないですか。それを取材できなかつたら、大損じゃないですか。だからヘイコラしてね。言わなあかんこと言わないで。それが脅迫となって効いている。これが、非常に偏った情報ばかりが垂れ流されていることの、一つの理由だと思います。

次に、知らなければならぬのはこういう情報だ、という実例を一つ挙げます。

This head of a Gaza hospital confessed that around 16 staff members - including doctors, nurses, paramedics and clerks - belonged to Hamas and the hospital was used as a terrorist operating ground.

So my question for you, @UNRWA and @WHO, is when will you acknowledge the crimes perpetrated in your institutions and under your watch?



イスラエル国旗を背にしてインタビューを受けているのはアフマド・ムハンマド。ガザ地区のカメル・アドナン病院の院長です。

彼はインタビューで、「私は2010年にハマ스에雇われ、ハマスでアミッドという階級を持っているハマスの者である。この病院の中には、ドクター・ナース・救急隊員・事務員をはじめ、少なくとも16人のハマステロ要員が入っている。そして、手榴弾やマシンガン（写真右下）が病院の中に備蓄されている。

この病院はハマスの作戦本部として使われていた」と全部白状したと言うんですね。

「イスラエルは病院を攻撃した！」と言われてるけど、病院を盾にして基地にしていたというのは、“国際法で絶対やってはいけないことをハマスがやっている”ということなんです。

そのことをTBSは報道しました？いやTBSに限りませんよ。
こういうハマ스에不利になる情報をわざとね、流さない。
そういうのを見ていると、私はもう、やむにやまれぬ思いで、このような情報を流すようにしたのでした。木鐸（ぼくたく）を打ち鳴らす者でありたいという願いなんです。

世の中にはもっと酷いことがたくさんありますが、このようなイスラエルに対する憎しみ、イスラエルが関わった時にだけヒステリックになりますね。
実は、その背後には霊的な問題があります。

思い込みによる問題もありますよ。文化大革命の時、皆は「文化大革命は良いことだ」という新聞の論調を喜んだんです。
なぜなら、その当時1960年代って、共産主義がバラ色に見えた時代だったんですよ。バラ色であってほしいという願いが、団塊の世代の中にあっただと思いますよ。文化大革命を否定的にするのは、自分たちが理想に思っていることを傷つけられることなので、どうしても弁護的になったということがあるんです。

しかし、中東情勢問題・ガザの問題については、「イスラエルは占領者で悪なんだ！パレスチナの人たちは抵抗勢力なんだ！」という「弱者は正しい！」という偶像的思い込みがあると思いますね。
その背後には、イスラエルを憎ませようとする霊的な力が働いているのです。

来年2024年、いったいどうなるんでしょう。もう激動の年になります。
詳しくは来年、またお話しします。よろしければ、またいらしてください。
1月7日（日）14時30分から「福音メッセージ」福音集会；東住吉キリスト集会。
1月11日（木）19時15分から「ざっくりダニエル書」；東住吉キリスト集会。1月12日（金）18時30分から「創世記の解説」とイスラエルのことも少し；
WWJD,シエラトン都ホテル大阪。

今年一年、皆さまにご支援いただき、本当に感謝しております。
皆さまのご支援、チャンネル登録、いいねボタン、これがやる気の原因になりますね。
よろしければ、チャンネル登録をお願いします。来年はお年玉企画を考えています。
ぜひご期待ください。ではまた、ごうちゃんねるでお会いしましょう。
皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

.. 〇〇.. 〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇..

*ガザ地区病院院長インタビュー動画; https://x.com/shem_kalit/status/1737444990840717528